

1 基本事項

事業名	健康で地域も活性化！ まちぐるみ健康マルシェ事業
事業概要・実績	
<p><b>1. 事業概要</b></p> <p>「住むと健康になるまち」をコンセプトに、多くの市民が参加できるよう、運動と食の面からアプローチし、健康意識を高める取り組みを市全体ですすめ、健康寿命の延伸及び医療費の増加抑制を目指す。事業期間は、平成 29 年度から令和元年度までの 3 年間。</p> <p><b>2. 事業内容</b></p> <p><b>(1) 運動習慣をつけるための支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩数、消費カロリーを測定できる活動量計を参加者が身につけ、データを Web システムで管理することで個々の生活スタイルに合った運動習慣を身につける。(5 か月間)</li> <li>・ 事業の開始及び終了時に運動指導等のイベントを行い、安全で効果的なウォーキングの周知や継続して歩く事の動機づけを行った。</li> <li>・ Web 機能を使ったバーチャルウォーキング大会(中山道)を行い、楽しみながらウォーキングを継続してもらった。</li> <li>・ グループでの参加形態により、誘い合う事でウォーキングの意欲向上を図った。</li> </ul> <p><b>(2) 飲食店などと連携したヘルシーメニューの提供事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食店などと協力し、愛西市産の野菜を使った「あいさい野菜メニュー」を飲食店で提供する。</li> <li>・ 健康につながる食事の知識の普及を行い、野菜の摂取を促進する。愛西市産の野菜を生産者から飲食店に提供することにより、地産地消及び野菜の消費拡大につなげる。</li> <li>・ 市内及び市外に『健康』をキーワードにした啓発を行うことで、人を呼び込み、まちの賑わいにつなげる。</li> </ul> <p><b>3. 事業の実績</b></p> <p><b>(1) 運動習慣をつけるための支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 30 年度からの継続者 323 名と令和元年度の新規申し込み者 149 名を合わせて 472 名が参加した。</li> <li>・ 新規参加者向けの開始説明会に 25 名、事業期間終了後の終了時イベントに 70 名が参加した。終了時イベントでは、参加者 4 名の体験発表と講師による講評をパネルディスカッション形式で実施した。</li> <li>・ 中山道を利用したバーチャルウォーキング大会を開催し、126 名が目的地の三条大橋に、115 名が努力賞のポイントに定めた中津川に到着した。</li> <li>・ グループでの参加形態に、23 組(69 名)が参加した。グループ全員(3 名)が三条大橋に到着した 4 グループを『みんなで頑張りましたで賞』として表彰を行った。</li> <li>・ 事業参加者の全期間の平均歩数は、7,520 歩であり、昨年(7,351 歩)一昨年(7,383 歩)と比べて増加した。</li> </ul> <p><b>(2) 飲食店などと連携したヘルシーメニューの提供事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商工会、観光協会、JA あいち海部、津島保健所と協力し、提供店の募集を行った。</li> <li>・ 3 店舗の新規申請を受け付け、あいさい野菜メニュー提供店として認定した。昨年度認定した 6 店舗と合わせて、提供店は 9 店舗となった。</li> <li>・ 地域情報誌による情報発信とリーフレットを市内主要施設等に設置した。</li> </ul>	

事業費 (単位：千円)	事業費		3,096千円
	財源内訳	国補助	1,548千円
		県補助	0千円
		使用料	711千円
		一般財源	837千円

## 2 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	目標値 (R元年度)	開始値 (H28年度)	実績値 H29年度	実績値 H30年度	実績値 R元年度
ヘルシーメニュー提供店舗数	30店舗	0店舗	0店舗	6店舗	9店舗
運動習慣者の割合	50.0%	42.5%	42.2%	40.7%	40.3%
総合型地域スポーツクラブ 会員数	803人	403人	390人	358人	362人
事業の課題	<p>運動習慣をつけるための支援事業について、参加者の継続申込率が上がり、新規の申込者と合わせて参加者数の増加があった。健康維持につなげるウォーキングを続けてもらえるよう、意欲を高める事業内容としていくことが必要。</p> <p>また、事業終了後も運動習慣を続けられるよう、総合型地域スポーツクラブへの会員登録など、他の社会資源等も紹介していくことが必要である。</p> <p>ヘルシーメニューの提供事業については、事業の周知に努め、提供店舗の増加や事業の認知度の向上につなげる必要がある。また、野菜を食べる効果等健康情報の発信も必要である。</p>				

## 3 内部評価 (A・B・C・D)

項目		点数	総合	評価説明
進捗	計画の推進状況	3	13 (B)	<p>運動支援事業の成果として事業前後のアンケート結果より BMI (肥満度) で見た肥満の方の割合が減少、国保加入者の事業参加群と未参加群の特定健診結果の比較で、参加群は BMI の減少と HbA1c (血糖値の検査項目) について平成30年度から減少がみられた。また、参加者からは活動量計の数値やバーチャルウォーキング大会がウォーキングの励みになり、習慣になったと意見を得ることもできた。</p> <p>ヘルシーメニュー提供事業についても、新規に3店舗認定し、継続した店舗の増加が図れた。</p>
	手段の妥当性	3		
効果	事業成果	3		
	住民ニーズ	2		
	KPIへの貢献度	2		

## 4 今後の事業の方向性

今後の方向	事業の方向性に関する考え (令和元年度末時点)	
拡充 (増)	<p>事業担当課：健康推進課</p> <p>運動習慣をつけるための支援事業は、参加者の利便性の向上として、スマートフォンから活動量計のデータを送信する機能を追加する。また、事業所及び地域のコミュニティなど幅広く周知を図り、今後も新規の参加者を募集しながら、事業を継続していく。</p> <p>ヘルシーメニューの提供事業については、あいさい野菜メニュー提供店舗を周るウォーキングスタンプラリーを実施し、ウォーキングの機会を提供するとともに野菜摂取の意識付け、まちの活性化を強化する。</p> <p>また、商工会、観光協会、JAなどとの協力により、生産者と店舗をつなげる仕組み作りや野菜の摂取増加につなげる情報発信、野菜の効能のPRなどを実施し、SDGsの目標の一つである持続可能な消費と生産のパターンを確保する。</p>	
継続		○
縮小 (減)		

5 愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の評価

評価結果		評価に対する特記事項
順調に実施された		<p>3種の重要業績評価指標については、令和元年度の実績値が目標値に未到達であったが、個別の指標に着目すればヘルシーメニュー提供店舗数については、新型コロナウイルス感染症下でも目標値に向けた増加傾向にあったことは評価したい。</p> <p>今後の事業展開においては、新型コロナウイルス感染症を意識した事業展開手法が求められる。感染症拡大下においては、近所で散策という手軽な運動への関心も高まり、ヘルシーメニュー提供店舗が載った市内散策マップの作成と掲載内容の充実は、本事業及び市内経済活動活性化にもつながっていくため、市内にある3つの高等学校生徒から事業内容充実につながる若い世代のアイデアを求めたり、その他民間の力を活用する検討などを踏まえ、愛西市民の健康寿命の延伸による「住むと健康になるまち」を目指す事業内容としてもらいたい。</p>
一部に遅れがあるが概ね順調に実施された	○	
順調に実施されなかった		